企業も地域社会を構成する一員であり、その地域社会や行政、教育機関等と充分なコミュニケーションの もとで有効なパートナーシップを築き、社会貢献活動を推進していくことが求められています。

○上海ミネベア淀山湖環境保護基金(上海オペレーション)

ミネベアは、上海ミネベアの近くにある淀山湖の水質保全を目的として、1996年4月20日に「上海ミネベア淀山湖環境保護基金」を設立しました。2009年7月末現在、基金の総額は1,160万元(約1億6,600万円)となっており、この基金の利子を使って工場周辺河川の浚渫(しゅんせつ)や緑化工事等を行っています。

今後は淀山湖の漁村住居の生活雑排水処理施設の 整備などへの活用も検討されています。

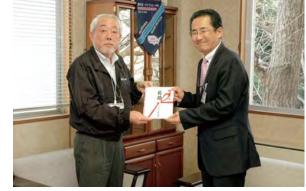


基金が役立てられ護岸工事の完了した河川

○車椅子用体重計の寄贈(藤沢工場、軽井沢工場)

ミネベアは2009年2月に神奈川県藤沢市に、そして2009年4月に長野県御代田町に車椅子用体重計を寄贈しました。この体重計はミネベアの計測機器事業部が設計・製造したもので、車椅子に乗ったまま体重を量ることができます。

寄贈した車椅子用体重計は、 福祉施設、運動施設等で 利用されています。



藤沢市長(右)との目録贈呈 贈呈者:新島事業部長(計測機器事業部)



◎地域ボランティア活動への参加(エヌ・エム・ビー電子精工)

2008年5月24日に仙台市の「みんなの森づくり事業」の一環として仙台市経済局農林部が主催する「第6回こけしの森づくり事業」に、市民ボランティアの一員としてエム・エム・ビー電子精工より8名が参加しました。

仙台の奥座敷、秋保温泉に隣接する湯元上原市有林で、 市民ボランティア他関係者286名の方々と共に、ミズキ、 ヤマザクラ、イタヤカエデ等約1,500本の苗木を植林 しました。



仙台市みんなの森づくり事業にボランティア参加した エヌ・エム・ビー電子精工(株)社員とその家族

◎タイの子どもたちへの教育支援プログラム (タイオペレーション)

タイで学校や学生の援助を行う高橋財団(ミネベア設立)は、1992年にタイミネベアグループ設立10周年を記念した寄付により設立されました。

2008年にはアユタヤ県のワット・ラシャドウ学校の図書室に「環境コーナー」を寄贈しました。このコーナーには、子どもたちに環境保護のことを考えてもらうために、環境ボードや本棚、子庭などを整備しました。

当日は、この学校の学生に環境・エネルギー保護意識の継続を目的に「温暖化の防止」を題材にした作文コンテストも行われました。



ワット・ラシャドウ学校に設けられた環境コーナー



ミネベアからの図書の寄贈



ワット・ラシャドウ学校の生徒とミネベア社員

◎アマチュアスポーツの振興 「カーリングホールみよた」の運営支援

ミネベアは、長野県御代田町の総合地域スポーツクラブ「カーリングホールみよた」の運営を支援しています。男子のSC軽井沢や女子のチーム長野など、長野県内で活動するカーリング選手たちが着用するベンチコートは2007年にミネベアが寄贈したもので、背中にヤマユリと浅間山をデザインした御代田町のシンボルマークがプリントされています。





軽井沢国際カーリング選手権(2009年)で活躍する長野県選手たち